

東京社保協第7回常任幹事会・資料集

2018年10月18日(木) 東京労働会館5階地評会議室



- 1～7 中央社保協第3回運営委員会報告
- 8 介護をよくする東京の会第8回事務局会議報告
- 9 消費税廃止東京各界連絡会事務局会議報告
- 10～11 消費税廃止各界連絡会からの報告要旨
- 12～17 都民連第1回世話人会議まとめ
- 18 無料・介護・認知症なんでも電話相談チラシ
- 19 2018年全国介護学習交流集会チラシ
- 20～21 第9回地域医療を守る運動全国交流集会チラシ
- 22～23 2018年滞納処分・差押え問題東日本学習交流集会チラシ
- 24 滞納・差押えホットラインチラシ



2018年度中央社保協第3回運営委員会報告

2018年10月3日(水) 13時～ 日本医療労働会館会議室

【出席確認】

○代表委員

住江(保団連) 山田(民医連) 岩橋(全労連) 寺川(東京) 井上(大阪)

○運営委員

白沢(障全協) 山元(新婦人) 中山(全商連) 西野(全生連)
吉川(農民連) 民谷(福祉保育労) 阿部(全教) (建交労)
田島(年金者組合) 瀧川(医労連) 上所(保団連) 梅津(共産党) (国
公労連) 佐賀(自治労連) 岡田(医療福祉生協連)
沢野(北海道) 高橋(宮城) 川嶋(埼玉) 藤田(千葉) 相川(東京) 根本(神
奈川) 寺越(石川) 小松(愛知) 寺内(大阪) 楠藤(徳島) 西村(福岡)

○事務局

工藤(保団連) 山本、堀岡(民医連) 大西、栗原(全労連)
山口、是枝(事務局)

_____は欠席

【報告事項】

8月	30日(木)	第2回代表委員会
9月	3日(月)	第46回社保学校準備(印刷) 1025共同行動実行委員会事務局会議
	4日(火)	第46回社保学校宝塚市市長インタビュー
	6日～8日	第46回社保学校 in 滋賀・大津
	9日(日)	全生連大会(愛知)
	10日(月)	社会保障誌秋号校正
	12日(水)	第2回運営委員会 介護・障害者部会
	13日～14日	全労連若者年金セミナー
	14日(金)	「4」の日・巣鴨宣伝⇒雨天中止
	17日(月)	東京社保学校
	18日(火)	四国ブロック会議 10.25共同行動実行委員会
	20日(木)	消費税廃止各界連宣伝⇒雨天中止
	21日(金)	全国介護集会実行委員会
	23日(日)	労働総研研究会
	25日(火)	10.11国民集会実行委員会 25条宣伝行動⇒雨天中止
10月	1日(月)	第3回代表委員会

【情勢の特徴】～新聞記事等参照

①沖縄県知事選挙 玉城氏勝利 同県知事選挙で最多得票

沖縄の基地のたたかひの新たな展望をきり開く結果となり、安倍政権に対する強烈な打撃を与えました。

②安倍首相「社会保障、全世代型に」 第4次改造内閣発足

③社会保障改革の工程表を来夏の参議院選挙前に発表

④生活保護基準引き下げ 10月1日実施

【協議事項】

(1) 第46回中央社保学校について～別紙「まとめ」参照

① 社保学校の振り返り

- ・ 今回は、滋賀の頑張りがあり、大津にも社保協結成へつながっている。近畿ブロックの励みにもなるシンポになった。
- ・ 若い方の参加のためには開催曜日の移動もいるのではないか。
- ・ 意見を述べる機会が少なかった。
- ・ 語り合うのにはワークショップ形式も必要か。
- ・ 「自治体から学ぶ」の企画が良かった。
- ・ 学習と討論が深まるような企画を計画したい。
- ・ 河北町の施策は石川では自治体の施策の参考になるか。
- ・ 日之出町から今度活動家を呼んでの学習をやる。運動側の視点から話してもらうことも必要だ。

② まとめ案並びに会計決算について、報告、確認された

③ 次回社保学校に向けて

- ・ 第47回中央社保学校開催について～別紙参照
日時 2019年8月29日(木)～31日(土)
場所 金沢市内(石川県教育会館などを予定)
企画たたき台案が寺越委員より提案があり、現地実行委員会での議論を受けて引き続き運営委員会にて議論していくことが確認された。
- ・ 北陸3県社保協で現地実行委員会
第1回を10月13日金沢にて開催することが報告、確認された。

(2) 安倍政権の社会保障解体攻撃に対するたたかひ～消費税10%増税反対の取り組み

① 安倍政権は、社会保障費について「実質的な増加を高齢化による増加分に相当する伸びにおさめる」という基本方針を踏襲し、「これまでの3年間と同様の歳出改革努力を継続する」ことで、自然増抑制、さらなる負担増・給付減の強行を明確にしています。

生活保護の削減、国保料の引き上げ、介護の負担増、給付削減がすすめられ、とくに75歳以上の窓口負担原則2割化の大改悪も計画されています。年金支給年齢の先送りをはじめ、年金切り下げも大問題です。2019年の参議院選挙前には、改悪の「工程表」を示し、先行して高齢者の雇用拡充策を年内に先行実施するとしています。

② これらの社会保障解体路線のもとで、「社会保障のため」などと称して、消費税10%への引き上げが強行されようとしています。「消費税増税も社会保障改悪も」

という、国民の命と暮らしを脅かす悪政をやめさせ、世論の分断を打ち破る国民的な共同のたたかい強化が求められています。

「骨太方針 2018」の閣議決定である「全世代型の社会保障制度」の名のもとに、社会保障のさらなる負担増・給付減をすすめながら、社会保障の財源に最もふさわしくない消費税 10%への増税を 2019 年 10 月から行うと明言しています。

- ③ たたかいをすすめるうえで、国民各層の深刻な実態、切実な声にもとづいて運動を推進、世論を広げていくことが重要です。

「エキタス」が掲げた「#最低賃金 1500 円になったら」投稿によせられた「モヤシ以外の野菜も買おうかな」「まずは病院へ行く」などの声。生活保護基準切り下げに反対する「子どもたちの未来を奪う生活保護基準引下げはやめてください」などの声。

国保加入者の 4 割が年金者などの無職、3 割が非正規雇用などの被用者で、所得の少ない、減っている世帯が 7 割に及ぶこと。無職者、非正規雇用、自営業などにひろがる「経済的事由による手遅れ死亡事例」などなど。

- ④ 今後の運動の推進

1. 25 条署名ならびに制度改善(高齢者 2 割負担化、年金、介護等)署名の推進
2. 自治体キャラバン行動、自治体要請、懇談の推進
3. 消費税廃止各界連等、団体、労働組合との共同推進～宣伝行動、学習会の開催等
4. 消費税増税が更なる大きな負担増になること、消費税は社会保障の財源にはなりえないことなどの宣伝を大きくしていくために、新たな消費税 10%増税中止署名、宣伝物などの検討

(出された意見の要旨)

- ・ 憲法 9 条や軍事費との関係含む打出が必要
- ・ 憲法 25 条との関係含めて生活がどうなっていくか、どう打開できるのかの議論の打出が必要。9 条と 25 条を一体のものとして守っていく一致点が必要だが、どうすればよいかを考えて企画を打ち出している。各課題に共通する問題点を明確にしていく。
- ・ 後期高齢者にばかり保護するのかの意見が若い世代に多い。立憲も含めて財源論を言われる。全世代型の打ち出しの土俵の中のたたかいではなく、安倍はまずは憲法改正にあるのだから、要求でたたかう、少子高齢化の中で全世代型の社会保障の対抗軸を束にして打ち出していく。
- ・ 社会保障全体をとらえての企画は必要だと思う。憲法 25 条を無力化に狙いがあるだろう。消費税増税の目的は何かを踏まえた運動が必要。
- ・ 民医連職員も消費税に対する認識は低い。どう伝え、提起していくのが課題。
- ・ 2040 問題。中央集権化が狙われているなかで、社会保障をその流れにのせていこうとするなかで、どうたたかうか。生保基準引き下げは、最低賃金引き下げのばねにされるのではないか。
- ・ 3000 万署名が中心のなかで社会保障署名は後景になっている。国が大変だから負担はしようがない。暮らしをどうつくるのかをおおづかみに国のありかたを土俵にした運動をつくりたい。

- ・ 憲法活かし命を最優先に！と打ち出している。軍事費削って暮らし、福祉、教育の充実を。学校エアコン設置も、予算が不足来年以降になる自治体もある。学校としても話を聞いてもらいたいと思っているし、自治体も国に要求していくことでは一致できる。そういう世論を、いのち暮らし守る視点からすすめていく。
- ・ 防災をするためにも、日ごろから暮らし福祉を充実していくことが求められている。対抗軸になる。
- ・ バレンタイン宣伝でも消費税問題、福祉問題も入れたチラシにしたい。
- ・ 野党にも患者負担問題を共通政策にしていてもらいたいが、一致点が難しい。
- ・ 財源論、負担公平論、生産性論が論点となり突破していく点。
- ・ 消費税ない時代はどういう財政だったのかをやっていかないと夢がでない。

※山口事務局長より、現在の「25条署名」は来春には国会へ提出していく。次の署名をどうするかを含めて、消費税問題をどうたたくかなど、引き続き議論する。

消費税廃止各界連の署名は、すでに中央でも各地域でも共同で取り組まれているが、さらに推進することが提起された。

(3) 当面する取り組み

1) 署名推進

① 「社会保障制度の拡充を求める請願」署名推進について

- ・ 署名目標 「100万筆早期突破」
- ・ 臨時国会開会中の署名提出行動～定例国会行動の日程に合わせて計画する

② 制度改善署名の取り組み

- ア、後期高齢者医療費定額負担原則2割化に反対する署名
- イ、介護改善署名⇒全労連、民医連と社保協の連名署名(別紙)
- ウ、年金改善署名⇒全労連、年金者組合と社保協の連名署名(別紙)
- エ、よりよい保育を求める署名⇒実行委員会

③ 宣伝・学習の普及、活用～

- ア、ポケットティッシュ⇒署名葉書を5万枚作製、データ配信と活用を呼びかけ
- イ、宣伝チラシデータの発信⇒第一弾「年金」チラシ(案)
- ウ、ネット署名の活用⇒25条行動実行委員会(福祉保育労)
- エ、「憲法25条を守り活かそう」のSNSサイトの立ち上げを検討しながら、25条運動の継続をあわせて検討しています。
- オ、定例・4の日宣伝行動等の推進
- カ、署名推進集会、提出行動等の検討

2) 25条共同行動の推進～第4回実行委員会議題参照

- ① 賛同申し入れの拡大
- ② ひとつこと要請の積み上げ
- ③ 呼びかけによる団体要請

- ④ 全国からの運動結集と10・25行動の集約
- ⑤ 「25日」宣伝行動の実施⇒10月25日までに実施検討
- ⑥ 推進ニュース等の検討必要か

3) 10・11「いのち・暮らし・社会保障を守る」国民集会～別紙参照

4) 国保～資料参照

※10月3日に行われた国保部会についての報告が行われた。

- ① 国保・滞納差押処分学習交流集会の計画～東日本、西日本ブロックで開催。

⇒東日本 11月11日(日)11時～16時30分 けんせつプラザ東京

東京社保協と共催

⇒西日本 2019年1月～2月初旬で検討中⇒講師の日程も踏まえ2月2日(土)

で調整をすすめる

場所は福岡市内(市民センターで検討)

中央社保協主催、福岡県社保協・九州ブロックと共催

※滞納処分対策全国会議にも協力を要請

※滞納処分対策全国会議が「滞納処分とは何か」パンフ(A4 4ページ)を作成している。これから活用を呼び掛ける。

- ② 滞納差押処分ホットラインの実施について

東京社保協が設定する12月16日で、全国的にも提起していく。

5) 介護(別紙参照)

- ① 2018全国介護学習交流集会

日時 11月18日(日)13時～16時50分

場所 明治大学駿河台キャンパスリバティータワー1093会議室

- ② 介護110番 「介護・認知症なんでも無料電話相談」

日時 11月11日(日)10時～18時 東京労働会館5階

⇒11月 7日(水)12時～13時 御茶ノ水駅前

介護署名宣伝行動(次回運営委員会前行動)…運営委員のご参加を

- ③ 東京大田区での総合事業に関する事業者へのアンケート結果について、東京社保協から報告があった。

6) 年金

- ① 年金フェスタ／一揆

日時 10月19日(金) 場所 日比谷野外音楽堂

- ② 全労連若者年金セミナー⇒9月13～14日に実施された

7) 生活保護

生活保護基準引き下げと生活保護法など改悪に断固抗議する1万人審査請求運動について、西野委員(全生連)より提起を受け社保協としても協力していくことを確認

した。

- ・ 全生連、いのちのとりでアクションは、1万人を目標に生活保護法改悪に抗議する審査請求運動を生活保護利用者に呼びかけています。各県、地域で審査請求運動に共同します。

8) 当面の宣伝行動

① 「4」の日宣伝行動～相談活動(介護・年金)も実施

10月14日(日) 11時～13時 巣鴨地蔵通り商店街入口
(ロングラン宣伝)

※10・25行動の宣伝も合わせて実行委員会からも参加予定

11月14日(水) 12時～13時 巣鴨駅前

12月14日(金) 12時～13時 巣鴨駅前

※以下、毎月14日に計画

② 消費税廃止各界連の消費税廃止24日宣伝行動。

奇数月(3・5・7・9・11)を基本に社保協・消費税廃止各界連との合同宣伝

③ 「宣伝行動ゾーン(13-15日、23-25日)」の徹底

④ 毎月25日を基本に、「25日行動」を計画

いのちのとりで全国アクション、年金者組合等と共同して取り組む。

- ・ 尚、10月の宣伝行動は、10月25日(火)までの日程で検討(御茶ノ水駅)していますので、日程確定次第連絡します。

9) 消費税の増税と社会保障制度の改悪阻止！東京・関信越税制研究集会開催に向けた要請に対する対応について～第2回実行委員会資料参照

① 同・研究集会の概要

- ・ 日時 2019年1月12日(土)1時～5時30分 13日(日)9時～13時
- ・ 場所 けんせつプラザ東京5階会議室

② 社保協としての位置づけ

- ・ 中央社保協は、賛同団体として協力
- ・ 同・研究集会分科会について協力する
分科会「社会保障と財政、消費税(仮)」を、不公平税制をただす会、東京土建とともに担当し協力する

10) 全国代表者会議について

- ・ 日時：2019年2月9日(土)
- ・ 場所：東京都内
- ・ 内容、スケジュール概要
10時半～14時半 全国代表者会議
15時～ 60周年記念企画、学習講演

18時～ 60周年記念レセプション日時

- ・ 基調報告(案)の考え方～総会方針の具体化
 - ア、地域社保協の再建、設立に向けて
 - 【総会方針を受けての具体化提案】
 - ①未結成県への対策～秋田、香川、高知、佐賀、大分
 - ②ブロックでの提起、意思統一
 - ⇒中央社保学校の近畿ブロックシンポジウム
 - ⇒広島、奈良、福井市など県庁所在地での社保協結成の教訓
 - ③政令指定都市、中核都市、県庁所在地での結成、再建
 - ⇒目標の設定
 - ④中央団体、労組への協力要請
 - ⇒地域に組織を持つ年金者組合、新婦人等への要請も
 - イ、署名推進と世論の構築
 - ウ、政策集団(仮)の結成に向けての方針提案
 - エ、介護障害者部会・国保部会の運動展開を

(4) その他

①各団体、県社保協からの報告

②主な日程

- 10月11日 憲法・いのち・社会保障まもる10・11国民集会
- 13日 第47回中央社保学校現地実行委員会
- 16日 10.25共同行動実行委員会
- 19日 年金フェスタ／一揆
- 25日 憲法25条を守り、活かそう10・25中央行動
- 30日 『骨格提言』の完全実現を求める10.30大フォーラム
全国介護集会実行委員会
- 31日 中央社保協近畿ブロック会議
- 11月 3日 子どもたちによりよい保育を！ 11.3大集会
- 7日 介護障害者部会(全労連会議室)
介護署名宣伝行動(御茶ノ水駅前)
中央社保協運営委員会(全日本民医連会議室)
- 11日 介護・認知症電話相談
- 13日 中央社保協北信越ブロック会議
- 15日 中央社保協関東甲ブロック会議
- 18日 2018全国介護学習交流集会
- 18～19日 障全協、第52回全国集会・中央行動
- 23日 地域医療を守る全国運動交流集会
- 25～26日 第32回日本高齢者大会

※次回運営日程 11月7日(水)14時～17時 全日本民医連会議室(全労連会館8階)

当日12時～13時は、御茶ノ水駅前での介護関係の署名宣伝行動

⇒運営委員の皆さんはご参加をお願いします。

「介護をよくする東京の会」第9期 第8回事務局会議報告

日時：2018年9月26日（水）13：30～ 会場：東京地評応接室

出席：久保（地評）、中村（医労連）、及川（民医連）、相川（社保協）、森永（全国ヘルパー）
西銘（医労連）横田（福保労）、（年金者組合）、杉山（東京自治労連） 下線欠席

<報告事項>

1、第7回事務局会議報告を確認した。

2、情勢報告

＊大田社保協総合事業者アンケート報告、大田区総合事業ガイドブック改定報告

3、各団体等の報告

自治労連）12月9日に開催される、東京自治研の介護分科会の報告。

東京医労連）11月10日に介護宣伝行動を上野で14時～15時で実施予定。

4、協議事項

1) 交流集会の行動提起に基づき、①地域の総合事業などの状況をつかんでいくために、大田社保協の事業者アンケートも参考に、「会」としてアンケートを実施していくことを確認した。なお、次回事務局会議までに詳細を確認し、11月以降に実施する予定。また地域で独自に実施できる所も積極的に要請していくことにした。

2) 10月31日に実施する、都民要求対都行動に関する「介護重点要求」について、処遇改善を中心に行っていくこと及び参加者を確認した。

3) 11月11日の介護・認知症なんでも電話相談に相談者を派遣していくことを確認した。

4) 今後の日程を確認した。

10月11日（木） 憲法・いのち・社会保障を守る10.11集会 日比谷野音

10月14日（日） 巣鴨地蔵通り入口 11時～13時

10月25日（木） 憲法25条を守り、生かそう10.25集会 日比谷野音

11月18日（日） 介護全国集会 10時半～ 明治大学リバティータワー

講演、林泰則（全日本民医連）横山壽一（仏教大学教授）

次回日程：10月24日（水）10：30～ 東京労働会館4階・自治労連会議室

10 月度事務局団体会議・報告

2018 年 10 月 12 日

消費税廃止東京各界連絡会

情勢など

㊦ 大塚駅・宣伝行動

9 月 4 団体 13 人参加 署名 8 名 チラシ 200/200

10 月 4 団体 12 人参加 署名 8 名 チラシ 150

㊦ この間の取りくみ

㊦ 増税中止に向けた運動

1、全国各界連の提起を受けて

東京各界連としての宣伝行動を 12 月 14 日（金）11：30～12：00 巣鴨駅頭宣伝
その後の社保協宣伝にも参加を促す。

○都内各地での地域各界連に共同での宣伝行動、自治体への請願・陳情運動を呼びかける。
要望書案などを各団体に改めて送付する。

2、都議会要請行動

年明け第一定の締切（第 1 次）が 12/5 となるため、それに合わせて東京各界連として要
請書（陳情・請願）を提出する。都議会各会派交渉を行なってはどうか。候補日 12 月
4 日（火）午後 3～5 時。要望書案は東商連が作成。

㊦ 次回の宣伝・署名行動、事務局団体会、財政等

1、事務局団体会議 …… 11 月 16 日（金）13 時 45 分～15 時

場所： 労働会館

2、定点宣伝（大塚駅北口）…… 11 月 16 日（金）12 時～13 時

㊦ その他 各団体の状況など

土建 全権総連として国会議員要請、各地での宣伝行動は共闘を迫及している。

都交渉 事業税課税判定書類で 24 号様式提出求められる。収支内訳書に当た
るもので、収入記載を求められる（法定要件ではないもの）

2018年10月度 運営委員団体会議への報告（要旨）

2018年10月3日
事務局長 中山 眞

1、改憲・消費税増税をねらう第4次安倍改造内閣が発足

- *昨日（10月2日）、第4次安倍改造内閣が発足した。
- *改憲シフトを敷き、消費税増税の実施を狙っている。
- *10月下旬開会（26日が有力）と言われる臨時国会で改憲案を提出する構え。
- *同時に、消費税増税への環境整備を急いでいる。
- *自民党内からは10兆円規模の対策を求める声が出ていることは前回の会議で紹介した。その後、具体策が次々と打ち出されている。

2、消費税増税へ環境整備を急ぐ政府

①駆け込み需要・反動減への対策

- *一つは、増税によって発生する駆け込み需要と反動減への対策。
- *10月1日付けの「日経」は「消費税増税時2%分還元 中小店、ポイントで」と報じた。クレジットカードなどキャッシュレス決済で商品を購入した消費者に購入額の2%分（8%から10%への増税分）を還元し、ポイントを発行するカード会社などを通じてポイントで還元し、会社負担分を国が補助する。中小事業者が店舗に備え付ける端末も配布する。関連費用は数千億円規模に。
- *他にも、▼住宅取得時に国が支給する「住まい給付金」の拡充（増額や条件緩和）▼住宅改修費用の一部補助▼住宅ローン減税の拡充や期限延長▼自動車取得税に代わる自動車燃費課税の軽減…などが検討されている。

【資料①】

②「軽減」分の財源に腐心する一方で大企業減税を拡充

- *9月30日付けの「毎日」は、約1兆円が必要となる軽減税率の財源の一部に、インボイス導入による増収分＝年約3500億円を充てる検討に入ったと報道。「インボイス導入によって免税業者が課税業者になる動きが広がり、課税業者が増え、増収になる」という考えは、小規模事業者への負担増となることを認めたもの。免税点（当初3000万円、現在1000万円）が導入された経過と意味をまったく無視するもの。消費税の仕組みを捻じ曲げて費税は「預り金」と宣伝し、「益税」宣伝で事業者と消費者を分断してきたが、それをさらに悪用することは許されない。増収額について「免税業者の動向次第で予測できない。恒久財源といえるかは疑問」との声も上がっている。

【資料②③】

- *こうした消費税増税への対策に莫大な税金投入が画策される一方で、大企業優遇税制の典型といわれる「研究開発減税」の拡充が検討されている。

【資料④】

3、中小事業者の対応は進まず

*複数税率への対応が迫られる中小業者は、レジ改修などが進んでいない。

【資料⑤】

*日本商工会議所の調査では「経理システムの準備を進めていない」が81%に上る。増税分を価格に転嫁できない」は37%。免税業者との取引については「一切行わない」「一部を除いて一切行わない」が10%となったとしている。

【資料⑥】

4、増税反対の世論と動き

*大規模な自然災害が相次ぐ中、SNS上で増税中止を求める声が広がっている。【資料⑦】

*神奈川県内の4民商が行った商店街アンケートでも「10%反対」が過半数となっている。【資料⑧】

*函館でも10%への増税は絶対反対の声が圧倒的となっている。【資料⑩】

*山形県・鶴岡田川地区各界連が行ったシール投票では反対が209人、賛成が6人で97.2%が反対となった。【資料⑫】

*学習会や集会・デモ、業界団体や商店街訪問、議会請願も広がっている。

【資料⑨⑩⑬⑭⑮⑯⑰⑱】

*今日(10月3日)の「日経」のコラム「大機小機」は「消費税増税のあとは」として、「財政再建に向けて税制の姿をどう描くか。消費税から所得税に軸足を移すべきだと考えている」と述べている。【別紙資料】

*Sankei Bizは9月17日、「消費税増税の機運は高まっているが、消費の基調の弱さやトルコ情勢などグローバル経済の不穏な動きがこれまで延期したときとなんとなく重なる」との野村証券チーフエコノミストの声を紹介するとともに、首相周辺の声として、「憲法改正の国民投票を成功させるため、自党内に増税の先送りを後押しに利用すべきだと主張する人はいる」と書いている。【別紙資料】

◆この間の活動を通じて、外に打って出て、対話する中で、「抑えていた怒りや不安を表面化させることができる」ことが明らかとなっている。この活動をどれだけ広げるかが、10%への増税阻止のカギとなる。

◆9条改憲が軍拡と大増税を招くことは火を見るより明らか。改憲・大増税阻止のたたかいに力を合わせていくことが重要。

---*--- 11月11日は、「いい介護の日」 ---*---

介護・認知症 なんでも

無料 電話相談

お気軽にお電話下さい！



高齢化がすすむなか、お金の心配なく安心して介護サービスを受けたい、すべての高齢者・家族の願いです。

しかし現状は介護職場の人手不足や、「負担が重くサービスを継続できない」「特養に入れない」など悩みは深刻です。

その悩みに答える「介護・認知症なんでも電話相談」を行います。介護の専門家、「認知症の人と家族の会」の相談員がお答えします。

とき 2018年 **11月11日(日)10時~18時**

でんわ

0120-110-458

中央社保協 中央社会保障推進協議会

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館5階
TEL.03-5808-5344 FAX.03-5808-5345

公益社団法人 認知症の人と家族の会

〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る 京都社会福祉会館2階
TEL.075-811-8195 FAX.075-811-8188

取り
扱い
団体

E-mail:k25@shahokyo.jp

※メールでのご相談は左記の **アドレス** をご利用下さい。

2018～2019 年度 都民連第 1 回世話人会議 まとめ

日時 2018年10月15日(月) 13:00～14:35

会場 東京地評会議室

【出席確認(順不同、敬称略。)] 13 組織 15 人

大内(東商連)、佐久間(新婦人本部)、黒坂(東京自治労連)、芝宮(年金者組合都本部)、水上(都生連)、國米(福祉保育労東京)、市川(臨海都民連)、平間(都教組)、田中(東京民医連)、木村(東京土建)、大住(自由法曹団東京)、皆内(東京母親大会連絡会)、萩原(新日本スポーツ連盟都連)、岸本(東京平和委員会)、白滝(松森)・阿久津・鎌田(東京地評)、
オブザーバー：會澤(革新都政の会)、寺川(東京社保協)、佐田(障都連)

I. 特別報告

「2018 年第 3 回都議会定例会の振り返り」

講師 大山とも子都議会議員(共産党都議団)

※築地市場の豊洲移転問題、オスプレイ横田配備問題、LGBT 都人権条例の審議経過、小中学校へのクーラー設置補助の獲得を中心にご報告いただきました。

II. 報告事項

1. 経過報告(8月31日～10月14日)

(1)2018年東京都議会第3回定例会(3定)開会日行動

9月19日(水)12:15～12:45、東京都庁前にて開会日行動を実施し、250人(実数232人、東京土建33支部98人、東京自治労連30人、都教組4人)が参加しました。事前に回収した個人請願用紙は844枚集まりました。萩原淳東京地評議長による開会あいさつのあと、3団体から決意表明がなされました(「豊洲新市場への移転問題」(東中労)、オスプレイの横田基地配備問題(横田基地撤去の会)、都立病院の独立行政法人化(都立病院の充実を求める連絡会))。都議会会派からとくとめ道信都議(日本共産党)があいさつし、都政の透明化と都民の生活を守り、応援する施策の充実を訴えました。主催は、東京地評、都民連、東京社保協。

(2)都民要求実現全都連絡会(都民連)

・(総会)8月31日(金)13:30～15:30、東京地評会議室で開催し16団体20人が出席しました。冒頭、萩原議長が開会あいさつ。曾根はじめ都議会議員(日本共産党都議団長)より来賓あいさつ・都政報告をいただきました。議案提案後、11団体から取り組みを中心に発言し討論。すべての議案を拍手で確認しました。なお、事務局長に井手口副議長を再任しました。

(3)都民生活要求大行動実行委員会(都民生活)

都民生活要求大行動実行委員会(事務局・東京地評、東京社保協)が7月31日に提出

した 2019 年度東京都予算要望書に対する回答が、10 月 1 日（一部 10 月 5 日）、東京都より寄せられました。同実委は、この回答をもとに来る 10 月 31 日に要請行動を実施します。

(4)2020オリンピック・パラリンピック問題

10 月 13 日（土）、2020 オリンピック・パラリンピックを考える都民の会などによる東京自治研究集会プレ企画シンポジウムが開催されました。

(5)豊洲新市場への移転中止を求める取り組み

都民連は、築地市場パレード実行委員会や豊洲移転中止署名をすすめる会などが提起する取り組みに協力し、豊洲新市場への移転中止を求める運動を進めています。

①豊洲移転中止署名

9/30 現在、51,698 筆を集計。現在も取り扱っております。

②行動、集会

（築地市場の豊洲移転に伴う食の安全・安心について考える学習会）

8 月 23 日（火）14：00～16：30、豊洲移転と食の安全・安心について考える学習会が東京都消費生活総合センター学習室Aにて開かれ、150 人（報道では 100 人余）が参加しました。主催は豊洲移転中止署名をすすめる会（会場の都合で日本消費者連盟）。

瀬瀬美千世氏・すすめる会発起人（日消連事務局長）は「豊洲移転で食の安全・安心が本当に守れるのか、今こそ改めて問い直したい」とあいさつ。

講演した中澤誠氏・すすめる会発起人（東京中央市場労働組合委員長）は「豊洲新市場には、交通が不便、床の耐荷重不足によりフォークリフトが使えないなど問題が山積している。仲卸業者らの質問にもまともに答えず、10 月移転を強行するのは極めて乱暴だ。築地市場を絶対壊してはいけない」と訴えました。

本間慎氏・すすめる会発起人（元フェリス女学院大学学長）は「環境基準の 4 万 3000 倍のベンゼンが検出された現実を直視するならば、移転中止を求めるのが科学者の取るべき態度だ」と、移転を追認した都の専門家会議を批判しました。

会場の参加者が相次ぎ発言。築地仲卸業者でつくる「築地女将（おかみ）さん会」の山口タイ会長は「豊洲はうそと隠ぺいとごまかしでできた市場。どんなことがあっても築地を守りたい」と語りました。

池上幸江・大妻女子大学名誉教授、宇都宮健児・日弁連元会長、日本共産党のあぜ上三和子都議も発言しました。

（築地でええじゃないか新宿西口宣伝）

2018 年 9 月 28 日（金）16:00～17:00、新宿駅西口にて新婦人本部が宣伝行動を実施し、31 人が参加しました。豊洲移転中止を求める署名は 31 筆集まりました。

（築地市場まだあと 100 年デモ）

2018 年 9 月 29 日（土）12:30～、築地市場の解体中止と豊洲新市場への移転中止を求め、築地市場正門前から新橋、農林水産省前、日比谷公園へ向けてデモ行進を行い、300 人が参加しました。呼びかけは築地市場の仲卸業者でつくる築地女将（おかみ）さん会。

東京中央市場労組の中澤誠委員長は、マンホールからの地下水漏れや建物床の耐荷重不足など噴出する豊洲新市場の矛盾を告発。「未来に残せ、日本の文化」と訴えました。

移転差し止め訴訟原告の弁護団長を務める、元日弁連会長の宇都宮健児弁護士は、小池知事の安全宣言は都民をあざむくものだと批判し、「いちばん大切なのは築地で働く人々の意思、あきらめないこと」だと呼びかけました。

(豊洲移転中止を求める署名を提出)

10月5日16:30より、豊洲移転中止署名をすすめる会は、「食の安全・安心を守れ 築地市場の豊洲移転中止など抜本的検討をもとめる署名」4,072筆を東京都知事宛てに提出しました。すすめる会がこれまで東京都に提出した同署名は51,698筆です。

(6) 基地問題・オスプレイ配備計画反対運動

都民連は、都内基地撤去、横田基地へのオスプレイ配備計画撤回を求め、「オスプレイ反対東京連絡会」や地元運動体の提起する行動に協力し、運動を推進しています。

① オスプレイ配備反対署名

現在、「オスプレイの飛行中止と配備撤回を求める署名」(安保破棄中央実委)に取り組んでいます。9/30現在、3,183筆を集計。

② 行動、集会

(座り込み)

・8月19日(日)13:30~15:00、福生市・フレンドシップパークにて実施し、150人が参加しました。

・9月16日(日)13:30~15:30、福生市・福生公園にて実施し、135人が参加しました。

(10/1 オスプレイ正式配備日・緊急行動)

・座り込み・・・10月1日(月)10:00~11:00、フレンドシップパークにて座り込み行動を実施し、180人が参加しました。主催はオスプレイ横田配備反対連絡会。

・ゲート前抗議行動・・・10月1日(月)10:00~12:00、横田基地第2ゲート前にて抗議行動を実施し、180人が参加しました。11:30より、北関東防衛局横田防衛事務所と米軍横田基地に対して、オスプレイ配備撤回を求める要請行動を行いました。米軍は要請書の受け取りを拒否しました。主催は横田基地撤去を求める西多摩の会。

(横田基地もいらない! 市民交流集会)

10月6日(土)10:00より、福生市民会館大ホールで「横田基地もいらない! 沖縄とともに声をあげよう市民交流集会」が開催され、850人が参加しました。同実行委員会が主催。紙芝居、DVD上映のあと、元外務省国際情報局長の孫崎享氏、横田基地撤去を求める西多摩の会の霍田一忠事務局長、オスプレイ情報アナリストの小柴康男氏が鼎談(ていだん)しました。集会後、基地周辺をデモ行進しました。

(7) 各種行動や集会など

① 社会保障・福祉関係

政府は75歳以上の医療費負担の原則2割化を2019年4月から実施する方針です。これに反対する署名を推進しています。また、国保改善運動として都議会宛て署名を進めています。都段階・中央段階の集会など、当面の取り組みは以下のとおりです。

ア) 年金フェスタ／一揆2018中央行動

日時10月19日(金)12:00～

会場日比谷野外音楽堂

集会後にパレードがあります

主催 年金者組合

イ) 憲法25条を守り、活かそう10.25中央行動

日時 10月25日(木)12:00～

会場 日比谷野外音楽堂

主催 「憲法25条を守り、活かそう」共同実行委員会（中央社保協も参加）

ウ) 2018年 滞納処分・差押え問題東日本学習交流集会

高すぎる国保料（税）が滞納を生み、大量の短期証や資格証明書の発行につながっています。東京では国保の差押え件数や滞納世帯に占める差押え率などで、多額の交付金が支払われるなど自治体に差押え競争をさせる仕組みが作られています。多摩地域では、差押え禁止基準を無視した差押えや無益な差押えがおこなわれています。

給与等が振り込まれた預金を全額差押える根拠は、「銀行預金は一般債権なので問題ない」というものですが、今年一月に群馬県前橋地裁で「国税徴収法の差押え禁止基準は、最低生活を保障するもので残高全額の差押えは違法」との画期的な判決が出され、前橋市が控訴を断念したため確定判決になりました。こうしたことをうけ、東京社保協は「2018年滞納処分・差押え問題東日本学習交流集会」を開催します。

日時 11月11日（日）11:00～

会場 けんせつプラザ東京

内容 基調講演「前橋地裁判決を踏まえた被害者救済の実務」吉野晶弁護士

資料代 500円（昼食は各自で）

エ) 介護・認知症なんでも電話相談

日時 11月11日(日) 10:00～18:00

会場 東京労働会館5階会議室

主催 東京社保協、中央社保協

フリーダイヤル 0120-110-458

オ) 第3回滞納・差し押さえ処分ホットラインの実施

日時 12月16日(日)10:00～18:00

場所 東京労働会館5階会議室

主催 東京社保協、中央社保協

フリーダイヤル 0120-110-458

②首長選挙

(1)品川区長選挙

品川区長（東京都）30日投開票の結果、自民、公明推薦の浜野健氏（71）＝無現＝が、立民、共産、自由推薦の学校法人理事佐藤裕彦氏（60）＝無新、元区議西本貴子氏（57）＝無新＝を破り4選。投票率は32・71％。

(8)都議会・都民生活をめぐる動き(別冊資料を参照してください)

- 都議会第3回定例会の関係資料
- 築地市場の豊洲移転問題、オスプレイ横田基地配備問題
- 中小企業振興条例案
- 各団体からの資料

Ⅲ. 協議事項

1. 2018年度東京都議会第4回定例会（4定）開会日行動の計画

議会事務局素案では、12/4開会～12/19閉会です。12/4火曜日を仮日程として、昼休み行動の配置を計画します。

(1) 4定の日程（予定）

開会（本会議）	12月4日（火曜日）
代表質問	12月11日（火曜日）
一般質問	12月12日（水曜日）
閉会（本会議）	12月19日（水曜日）

(2) 都議会開会日行動

開会日に実施する行動です。以下のとおり実施することを提案します。

日時	12月4日（火曜日）12:15～12:45
場所	東京都庁第1本庁舎前歩道
主催	都民連、東京社保協、東京地評

(3) 行動内容の検討

- ・ 宣伝カー 東京土建カーに配置を要請します。
 - ・ 司会 東京母親（以降、東京地評→新婦人本部→東京社保協）
 - ・ 主催者挨拶 東京地評・荻原淳議長
 - ・ 団体決意表明 4テーマを掲げる（各4分）。
事務局からのテーマ素案（順不同）
①築地市場解体を許さない、②都立病院独法化問題、③中小企業振興条例案
 - ・ 会派あいさつ 開会日確定後、各会派に参加要請します。
 - ・ 個人請願書 各団体の要求にもとづいて、あらためて精査してください。10月31日（水）までにご意見をいただき、11月2日に確定したうえで、事前配信します。組合員・会員に事前の記入と当日持参を呼びかけてください。（前回3定では事前記入は844人分でした。4定はこれを上回ることを目指します。ご協力ください。）
- ※なお、19年1定（予算議会）にむけて要望事項の精査を始めてください。

- ・シュプレヒコール 前回行動のものを活用します。修正意見は11/30まで受付。
シュプレヒコーラー：新日本スポーツ都連にお願いします。

2. 10/27 オスプレイ集会への協賛金 30 万円を支出します

過去の例にのっとり、主催者（オスプレイ反対東京連絡会）の要請どおりに支出します。

3. 各団体の取り組みの交流

- ・都本部大会にむけて準備を進めている。
- ・意見書、声明を発表。沖縄県知事選や横田基地へのオスプレイ正式配備、文科大臣教育勅語発言などを中心に報告。
- ・特別区人事委員会勧告が酷い。9671 円マイナスと出た。勧告を実施させない運動になるうか。
- ・予算要望書の作成にあたっている。
- ・社保学校の開催。10/14 社保宣伝は 32 人参加、対話になるのが巣鴨宣伝の特徴、保険料、負担額の増加の悩み。
- ・シンポを開催し UNESCO 国際憲章に関わった方を講師に招く。お金がかかりすぎの 2020 東京五輪準備。可視化などが必要。
- ・2018 年東京母親大会、12/9 に予定、核問題の記念講演、8 分科会、見学分科会も予定している、横田基地、全生園の見学など
- ・デニー勝利で民意を示した。豊見城市長選の勝利などで揺るぎない形ができつつあるのではないか。この流れを東京にもつくろう。木更津オスプレイ、9 月テスト飛行の予定がやろうとすると不具合がでる。不安定であることの証拠。整備というより修理である。
- ・年金相談を実施している。非課税なのに課税対象になった方が大量に生まれた昨年を繰り返させない。
- ・土地投げ売り問題、10/26・15 時地裁 419 で開廷。土地価格鑑定書を作成し都に突きつけていく。
- ・沖縄選挙にも前回同様に支援してきた。勝ってよかったと口々に。全力で取り組んだ甲斐があった。地域医療構想問題、生保対象ジェネリックを事実上強制、誘導する政策が目指されている。在宅看護、リハビリ時などで従事者がハラスメントを受けている問題を広く知ってもらいたい。
- ・区市町村が予算措置しないとクーラー設置につながらない。地域での取り組みが重要。箱物への予算はつくが、経常的予算がまったく増えない、そこにつなげる運動が必要。ゆきとどいた署名の推進とともに共同を進めたい。

【次回の日程】

12月14日（金）13：30～15：00 東京自治労連会議室 （ミニ学習＝都立病院問題）
※毎月金曜日、月曜日での設定を定例化できるように努めています。

以上

人権としての介護保障を ～介護保険の改善方向を探る～

政府の社会保障削減政策により、介護現場は悲鳴を上げています。第16回を迎えた本集会では介護保険制度の現状と問題点を踏まえ、基本的人権としての高齢者ケア・社会保障のあり方を考え、「老人不安社会」から脱出を展望します。



●アクセス●



- JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線
御茶ノ水駅 下車徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線
新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線
神保町駅 下車徒歩約5分

日時 2018年
11月18日 13:00～16:50
●開場12:00～ ●開会13:00～ ●閉会16:50

会場 するがだい
明治大学駿河台キャンパス
リバティータワー9階1093教室

参加費無料 どなたでも参加できます。事前申込み不要です。

主な内容

●講演Ⅰ「高齢者のケアを保障しえない 介護保険－歴史と現在」



はやし やすのり
林 泰則 さん
全日本民主医療機関連合会事務局次長

全国の介護・福祉の拡充運動を利用者・現場の立場から、理念・情勢分析・政策提起でリード。わかりやすい話が好評です。

●講演Ⅱ「権利としての 高齢者ケア保障の確立へ」



よこやま としかず
横山 壽一 さん
佛教大学社会福祉学部教授

福祉と社会のつながりが研究テーマ。これからの高齢者ケアのあり方を提起します。著書に「社会保障の再構築－市場化から共同化へ」など

●各界・各分野からの報告、討論

第9回

地域医療を守る運動全国交流集会

住民の願いにもとづく 地域医療の充実を

国がすすめる医療提供体制縮小の中で、ベッド削減ありきの「地域医療構想」ではなく、必要なベッド数を確保する医療提供体制の確立が求められています。

全国各地の地域医療崩壊の問題や疾病別・へき地医療・災害時医療などの有り方などを考えながら、医療提供体制の縮小・削減をくい止め、地域医療を守り充実させていくことが重要です。



その一致点で全国各地での運動を前進させるため、全国の取り組みについて交流集会を開催します。各地の「地域医療構想」「医療計画」を踏まえながら、住民要求にもとづく地域医療の実現をめざし、地域住民による取り組みや地域社保協への結集など、運動を前進させましょう。



とき

2018年11月23日(金) 10:00~16:30 (受付9:30)

ところ

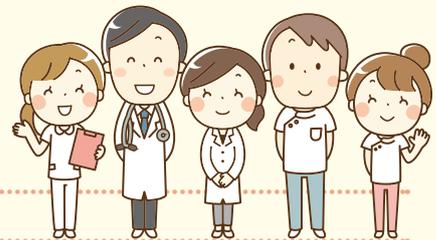
東京ビッグサイト会議棟・605、606会議室

東京都江東区有明3-11-1 TEL.03-5530-1111 (代)

参加費

500円 (資料代として)

※昼食にお弁当 (お茶付き) をご希望の方は、別途1,000円が必要となります。



スケジュール

09:30 受付開始

10:00 開会あいさつ

10:15 シンポジウム「地域医療をめぐる情勢の特徴」

研究者 横山壽一先生 (佛教学大学教授) / 長友薫輝先生 (三重短期大学教授)

地域住民 長平 弘さん (地域医療と公立病院を守る千葉県民連絡会)

高橋美明さん (都立病院の充実を求める連絡会)

自治体病院 新家忠文さん (みえ自治労連)

12:30 昼食休憩 ※希望者にお弁当 (お茶付き・1,000円) をご用意します。

13:30 地域医療を守る運動の全体会
特別報告.....

- ・徳島国立病院統廃合問題 (全医労)
- ・地域医療の充実を (鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会)
- ・被災地医療 (岩手県の地域医療を守る対策会議)
- ・被災地医療 (自治労連)

15:00 フロア発言

16:15 問題提起

16:30 終了 解散



主催 | 第9回「地域医療を守る運動全国交流集会」実行委員会

日本医療労働組合連合会 / 日本自治体労働組合総連合 / 中央社会保障推進協議会 / 地域医療機能推進機構病院等を拡充する会

【事務局】日本医療労働組合連合会 TEL 03-3875-5871 FAX 03-3875-6270 ホームページ <http://www.irouren.or.jp> E-mail n-ask@irouren.or.jp

第9回・「地域医療を守る運動全国交流集会」参加申込書

●参加費は500円(資料代)です。昼食をご希望の方は、お弁当代(お茶付き)として別途1,000円いただきます。

申込み期限 第一次集約:10月31日(水) 最終集約:11月9日(金)

送付先 FAX **03-3875-6270** (日本医労連)

申込代表者 氏名			申し込み日	月	日
団体名又は 勤務先					
連絡先	〒	—	電話番号		
	住所				

※上記「申込代表者」も参加する場合は、下記名簿にも記入願います。

	参加者氏名	団体名又は勤務先	弁当 ※希望する方は○印を
①			
②			
③			
④			
⑤			

東京ビッグサイト 会議棟 605・606会議室

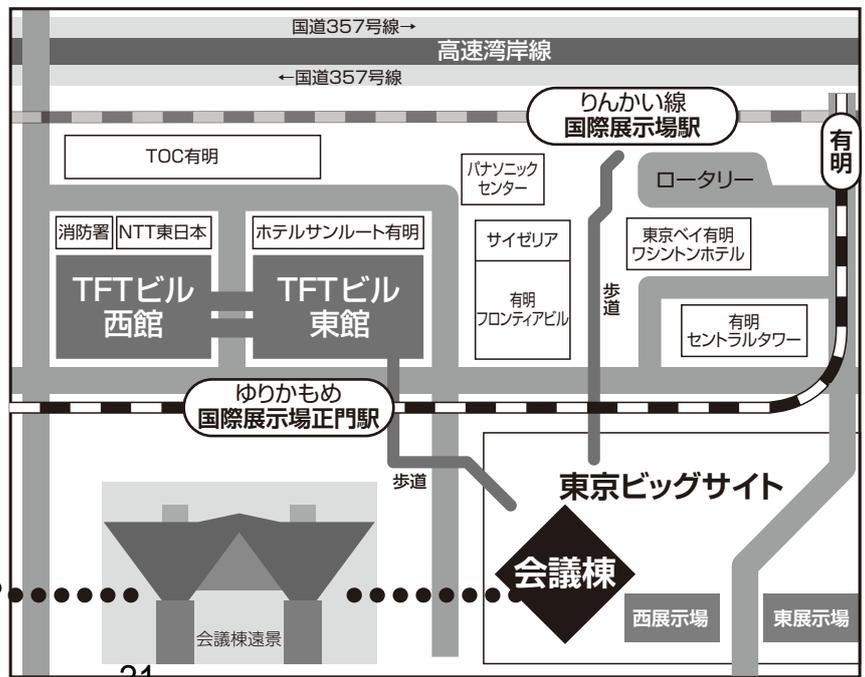
東京都江東区有明3-11-1 TEL.03-5530-1111 (代)

アクセス

●りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩5分



●ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩1分



【講師紹介】



吉野 晶氏

マルチ商法被害やクレジットを利用した悪質商法被害など、消費者問題を積極的に取り組んできました。労働問題についても多く扱っています。相談者から相談内容を十分に聞きながら事件処理を進めていきます。

日本司法支援センター（法テラス）群馬地方事務所副所長。群馬労働弁護団幹事長。群馬弁護士会消費者問題対策委員会委員長



滞納処分・差押問題東日本 学習交流会参加申込書

※申込者氏名 _____

※地域又は団体名 _____
(必ず県名から書いてください)

※連絡先 tel _____

fax _____

※申込みは東京社保協にFAXまたはメールで

参加者氏名（フルネームで）
3人以上はコピーしてください

2018年 滞納処分・差押問題東日本学習交流会

基調講演

違法・不当な滞納処分
行政権の行使をテックしよう

銀行に振り込まれた給与が全額差押えられるという事件が前橋市で起こりました。裁判で市側は「預金を差し押さえたので問題ない」と強弁。前橋地裁は「給与差し押さへの趣旨は最低生活保障」で全額差押は脱法的差押えで違法との画期的判決。この判決は確定しました。

東京社保協では中央社保協とともに滞納処分・差押の学習交流会を開催します。ぜひ積極的にご参加ください。

吉野 晶氏

(弁護士・群馬労働弁護団幹事長)

運動交流

現在調整中

とき 2018 年 11 月 11 日(日) 11:00~16:30

ところ けんせつプラザ東京 (東京土建本部会館)

(東京都新宿区北新宿1-8-16 JR総武線「大久保駅」北口徒歩3分・地区は裏面)

資料代 500円 (昼食は各自でお願いします)



お問合せ 東京社保協 tel:03-5395-3165 fax:03-3946-6823 male:syaho2@chihyo.jp

主催：東京社保協 共催：中央社保協 (申込みは裏面に記入して東京社保協まで)



社会保障の国民負担増、サービス削減が進められ、貧困と格差が拡大するも「高すぎる国保料(税)」や「税金」などが払えず、「給料の全額が差し押さえられ、暮らしていけない」などの声や相談が、次々に寄せられています。

一括返還を迫る強引な徴収、差押え禁止基準を無視した違法な差押えを行う自治体も増えています。特に、国保料(税)の滞納による「差押え」が急増しています。

私たちは、いのちとくらしに直結する深刻な滞納・差押問題について、お困りの方からの声をおうかがいし、問題解決に向けた取り組みをすすめるため、「全国いっせい相談活動」を、実施します。相談は無料です。ぜひ、お気軽にご相談ください。

相談日 2018年12月16日(日)10時～18時

ご相談はフリーダイヤル

0120-110-458

主催 東京社会保障推進協議会 (東京社保協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10東京労働会館6階 Tel.03-5395-3165 Fax03-3946-6823

共催 中央社会保障推進協議会 (中央社保協)

〒110-0013 東京都台東区入谷日本医療労働会館5階 Tel.03-5808-5344 Fax03-3946-6823

★メールでのお問合せ、ご相談は…

中央社保協 ← 検索
東京社保協 ← 検索

取扱い団体